

第6学年社会科学学習指導案

日時 平成30年11月6日(火)6校時

児童数 男子8名 女子10名 計18名

指導者 久保 弘道

1 単元名 日本の歴史 平和で豊かな暮らしを目ざして (教育出版)

2 単元について

本単元は、学習指導要領の内容には「(2) 我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。」とあり、「(サ) 日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピックの開催などを手掛かりに、戦後わが国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解すること。」と示されている。

戦後、日本は民主主義国家を目指し、日本国憲法の制定、軍の解散、財閥解体などの改革を行った。また、サンフランシスコ平和条約を結ぶことで主権を回復し、国際連合に加入し国際社会への復帰を果たした。また、日本は戦後の復興を目指して急速に産業を発展させてきたことにより、国民生活は向上し、国際社会の中でも重要な役割を果たすことができるようになってきた。1964年には、アジア初の東京オリンピックを開催するまでになった。国民の不断の努力により高度経済成長を迎え復興を遂げた一方で、公害等の環境問題があることや、近隣諸国との平和的な関係を築いてきたが問題を抱えていることについてとらえさせる。本単元は、歴史学習の最後であり、これまでの学習を振り返り、平和で民主的な国家の一員として世界の人々と共に生きることの大切さを考えさせることができる小単元である。

児童の学習の様子は、意欲的に資料から読み取ったり考えたりするが、進んで発言することの苦手な児童が多い。できるだけ、一人一人の思いや考えが生かされるように、ペアでの話し合いを通して分かったことを確認させながら発表につなげていきたい。児童は前小単元において、戦争の経緯や人々の暮らし、その悲惨さを学習し、平和への大切さについて考えてきた。本小単元では、戦争での学習を生かしながら、平和で民主的な国家を目指すとともに、諸外国との友好な関係づくりにも努力していることを理解させたい。指導に当たっては、身近な人からの情報も収集しながら、当時の様子や思いを感じ取らせるようにしたい。

3 単元の目標

- 戦後、人々がどのような願いをもち、どのような社会を目指していったかについて関心をもち、積極的に調べようとする。 **【関心・意欲・態度】**
- 戦後の日本の社会がどのように変わっていくのかについて学習問題を考え、表現することができる。 **【思考・判断・表現】**
- 戦後の社会や暮らしの変化について、資料を読み取ったり身近な人から聞き取りをしたりして調べ、まとめることができる。 **【技能】**
- 日本国憲法やさまざまな改革の内容をつかみ、戦後、日本が民主的な国家を目指してきたことや国民生活が向上し日本が国際社会に重要な役割を果たしてきたこと理解することができる。 **【知識・理解】**

4 学習計画と振り返りの構想 (6時間)

時	目標	振り返りの計画	
		目的	期待する表現 (例)
1	戦争が終わったころの暮らしの様子や人々の願いを調べ、戦後、どのような社会が目ざされたのかについて調べていく学習問題を設定することができる。	○単元の学習への意欲・興味の高揚	戦争が終わった後、食べ物や着る物が不足していて厳しい暮らしだったことが分かりました。これから日本はどうやって今ようになったか知りたいです。
2	日本国憲法が制定され、さまざまな改革が進められていく過程を調べ、日本が目ざした新しい社会のあり方について考えることができる。	○知識・理解の定着 ○学習事項の深化・主体化	日本国憲法をつくり、いろいろな制度を作った日本は民主的で平和的な国づくりをめざしてきたことが分かりました。今の暮らしと深くかかわっていると思いました。
3 本時	日本が独立を回復したことや東京オリンピックが開催されたことを調べ、日本が国際社会に復帰した過程を理解することができる。	○学習事項の深化・主体化 ○知識・理解の定着	日本が平和条約を結び、国際連合に加入したことや日本が産業を大きく発展させたことが分かりました。戦後 19 年でオリンピックが開けるまでになるように努力してきたことがすごいと思いました。今度のオリンピックも成功してほしいと思いました。
4	産業や経済が急速に発展した様子を調べ、それに関連して社会の様子や人々の暮らしがどのように変化していったのかを考えることができる。	○知識・理解の定着 ○学習事項の応用・発展・生活化	電気製品がたくさん使われるようになり、暮らしが豊かになったことが分かりました。でも、公害の問題も起きたので、環境や健康を考えることも大事だと思いました。
5	戦後の近隣諸国との関係や残された課題について調べ、現在やこれからの社会のあり方について考えることができる。	○知識・理解の定着 ○学習事項の深化・主体化	戦争が終わったけれど、まだまだ解決しなければいけない問題があることが分かりました。いろいろな国と平和な関係をつくることが大事だと思いました。
6	歴史の学習から学んだことと自分たちの暮らしとのつながりを考え、今後、自分が大切にしていきたいことを意見文にまとめることができる。	○学習事項の深化・主体化 ○自己の変容の自覚・自己有用感の感得	これまで学習した中で、○○という人物が～～したことが特に心に残っています。～～は、今の・・・につながっていることに驚きました。これからも平和な社会が続くように、みんなが力を合わせていくことが大切だと思いました。

5 本時の指導

(1) 目標

日本が独立を回復したことや東京オリンピックが開催されたことを調べ、日本が国際社会に復帰した過程を理解することができる。

(2) 「いっかたい授業」・振り返りをさせるにあたって

①本時で想定した振り返りの姿（設定したゴール像）

日本が平和条約を結び、国際連合に加入したことや日本が産業を大きく発展させたことが分かりました。戦後 19 年でオリンピックが開けるまでになるように努力してきたことがすごいと思いました。今度のオリンピックも成功してほしいと思いました。

②ゴールに迫るための「いっかたい授業」の留意点

いっ：前時までの戦後の焼け野原や暮らしの様子とオリンピックの様子を比較しながら話し合い、なぜ大きな被害をうけた戦争からわずかな期間でオリンピックが開催されるまでになったことから問いを引き出したい。

か：オリンピックが開かれるためにどんなことが大事かを考えさせ、予想を立てさせる。

た：教科書の記述や資料集から調べたことを、ペアで交流したり、全体で話し合ったりして確かめさせる。また、ビデオ教材の活用も図りながら理解を深めさせる。

い：日本が国際社会に認められるようになるまでにどのようなことがあったのか、オリンピックが開催されたことをどう思ったかについて書くように指示する。

(3) 展開

段階	学習活動と学習内容	指導上の留意点
導入 (7)	<p>1 本時の学習課題を立てる。 終戦後の焼け野原と写真とオリンピックの写真を比べて気付いたことを話し合い、学習課題を設定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 戦後の町の様子から、荒廃や物資の不足を想起し、オリンピックの開会式の写真と比較させる。共通点や相違点に気付かせ、世界各国が参加していることや短期間でオリンピック開催に至ったことから、課題につなげられるようにする。
	<p>いっ 日本がオリンピックを開けるまでになったのは、なぜだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本時のまとめ文の一部や振り返りの視点を示し、学習の見通しを持たせる。
展開 (30)	<p>か</p> <p>2 学習課題について、自分の予想を立てて発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本が戦争しない国として認められた。 平和な国として世界から認められた。 オリンピックを開けるようになるために町を整備した。 <p>た</p> <p>3 教科書、資料、ビデオ資料から、予想したことを検証する。</p> <p>(1) 国際社会への復帰について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1951 年、サンフランシスコで平和条約を結び、独立を回復した。 	<ul style="list-style-type: none"> 予想をノートに書かせ、自分の考えを持たせるようにする。 予想が書けない児童には、オリンピックには誰が参加するか、どんな施設が必要かを考えさせる。 平和条約の内容について確認し、条約を結んだことで、国として独立し、戦争状態が解消されたことを確かめさせたい。 76 か国が加入している国際連合に加入することにより、他国との関係が改善されたこと

	<ul style="list-style-type: none"> ・1956年、国際連合の加入が認められて国際社会へ復帰した。 (2) 経済や産業の発達について調べる。 ・新幹線などの交通の整備や高速道路の建設を進めた。 ・経済や産業を発展させた。 ・アメリカとの結びつきを強めて、産業を発展させた。 <p>4 オリンピック開催の成果や人々の思いについて考える。</p>	<p>をおさえさせたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアでの交流をさせ、調べたことを確かめ合う。 ・VTRを提示し、新幹線の開通や高速道路、高層ビル建設等の都市整備が進んだことに気づかせる。 ・全体で、日本が国際社会に認められたことや国内の交通や都市整備を進めたことを確かめ、予想の検証をする。 ・当時の人々の平和への願い、国際社会の復帰、日本の復興について、自分の思いを持たせたい。
<p>終末 (8)</p>	<p>5 学習課題についてまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>日本が、外国との関係を改善し、経済が発展したから。</p> </div> <p>い</p> <p>6 本時の学習を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>日本が平和条約を結び、国際連合に加入したことや日本が産業を大きく発展させたことが分かりました。戦後19年でオリンピックが開けるまでになるように努力してきたことがすごいと思いました。今度のオリンピックも成功してほしいと思いました。</p> </div> <p>7 次時の学習内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・板書のキーワードに着目させまとめにつなげる。(改善、経済の発展) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>振り返りの発問</p> <p>今日の学習で分かったこと、オリンピックが開けたことについて思ったことを書きましょう。</p> </div>

(4) 板書計画

